

長等学区自主防災会研修会 講演資料

災害時の情報収集と見極め力

～デジタル時代に求められる地域防災力～

日 時：令和8年6月28日（日）10：00～11：45

会 場：長等コミュニティセンターセンター 2階 大会議室

講 師：長等学区自主防災会・防災士 竹内 義博

1. 能登半島地震で相次いだ偽救助要請

能登半島地震では、SNS 上に多数の救助要請が投稿されました。

しかしその中には、同じ文章のコピー投稿、過去の画像の流用、実在しない住所の投稿など、偽の救助要請も含まれていました。

その結果、本当に助けが必要な情報の判別が難しくなり、救助活動の妨げになる可能性が指摘されました。

「**情報が多い＝正しい**」ではないことを理解する必要があります。

2. 災害時に本当に怖いもの

災害時に怖いものとして、命の危険、家屋倒壊、火災、安否確認が取れないこと、情報がないことなどが挙げられます。

しかし、「**間違った情報**」は人を慌てさせ、不要な行動をさせ、支援を遅らせる可能性があります。

3. 防災アプリの活用

- **大津市防災ナビ**：市からの公式情報、地区ごとの情報、安否確認機能
- **Yahoo!防災速報**：通知が早く、地域設定が細かい
- **NHK ニュース・防災**：信頼性が高く、映像で状況確認が可能

一方で、通知の多さ、電池消耗、通信環境への依存にも注意が必要です。

4. SNS 情報の見極めポイント

- 個人投稿で公的機関を名乗っていないか
- 公式発表と照合したか
- 内部情報を SNS に出すことがあるか
- 「拡散希望」と書かれていないか
- 出典が示されているか
- 不安を過度にあおっていないか
- 特定の属性を攻撃していないか

近年は **AI 生成画像**や過去映像の再投稿などにも注意が必要です。

5. ネットが使えないときの備え

スマートフォンは便利ですが、バッテリー切れ、基地局被災、通信制限、故障などが起こりえます。

また、固定電話もひかり電話は停電時使用できません。

「スマホがあれば大丈夫」と過信せず、**アナログの備えも重要**です。

備えとして次のことを確認しておきましょう。

- 集合場所と時間のルールを決める
- 171（災害用伝言ダイヤル）の使い方を確認する
- 紙の連絡カードや防災ノートを作成する
- 近隣で声をかけ合う体制を整える

防災力とは、「**正しい情報を選ぶ力**」と「**事前の取り決め**」です。

大津市の防災情報が提供されるサイト



大津市防災ポータル

<https://www.city.otsu.lg.jp/bousai/>



ハザードマップや避難所、避難行動など、「知る（知識を得る）」・「考える（イメージする）」・「対策する」ための9つのメニューを配置し、防災に関する出前講座の内容も掲載。

避難情報、安否確認などの機能を持つ総合的なアプリ



大津市 LINE 公式アカウント



大津市 LINE 公式アカウントは、AI（人工知能）を活用した総合案内チャットボットによる対話型の案内サービスの利用や、災害情報をはじめとした大津市に関する様々な情報を発信するアカウント。



Yahoo 防災速報

<https://emg.yahoo.co.jp/>



緊急地震速報や津波、避難情報、大雨による災害などさまざまな防災情報をプッシュ通知で受け取れるほか、災害マップや防災手帳など、災害に備えるコンテンツを確認できるスマートフォンアプリ。



大津市防災ナビ

<https://www.city.otsu.lg.jp/bousai/39533.html>



iPhone 用 QR コード



Android 用 QR コード

現在地周辺の指定避難所、指定緊急避難場所、AED 設置箇所を自動表示、現在地から上記場所までの誘導、安否登録と安否確認などの機能を持つ大津市の公式アプリ。



NHK ニュース・防災

https://www3.nhk.or.jp/news/news_bousai_app/index.html



iPhone 用 QR コード



Android 用 QR コード

NHK が提供する、地震・津波・台風等の災害情報、および特別警報や警報、土砂災害警戒情報等の防災気象情報がリアルタイムで、防災行政無線と同様の緊急速報を受信でき、避難所情報や避難ルート、物資支援情報などが確認できるアプリ。

わが家の防災チェックリスト

※ 家族で確認し、□にチェックを入れましょう。

【情報の備え】

- ☐ 大津市防災ナビを登録している
- ☐ 家族全員が通知を確認できる
- ☐ テレビ・ラジオでも情報が取れる
- ☐ SNS 情報は公式発表と照合することを家族で確認している

【集合と時間の約束】

- ☐ 第1 集合場所を決めている
- ☐ 第1 集合場所で〇時間待つルールを決めている
- ☐ 第2 集合場所を決めている
- ☐ それでも会えない場合の対応（翌日確認など）を決めている

【連絡方法】

- ☐ 171（災害用伝言ダイヤル）の使い方を知っている
- ☐ 市外の親戚を中継連絡先に決めている
- ☐ 紙の連絡カードを作っている
- ☐ 近所で声をかけ合う相手を決めている

【デジタル依存への備え】

- ☐ モバイルバッテリーがある
- ☐ 車で充電できる
- ☐ 防災リュックにラジオがある
- ☐ 防災ノート（紙）を作っている

防災力とは、『正しい情報を選ぶ力』と『事前の取り決め』です。

自治会のための「デジタル+アナログ」情報備えチェックリスト

【情報収集体制】

- ☐ 大津市防災ナビ等（防災アプリ）の登録率を把握している
- ☐ アプリ説明の機会を設けている
- ☐ 停電時の情報伝達方法を決めている

【通信切断への備え】

- ☐ 停電を想定した連絡方法を決めている
- ☐ 防災倉庫にラジオを常備している
- ☐ 充電設備（発電機・ポータブル電源）の確認をしている

【アナログ安否確認体制】

- ☐ 『近隣3軒確認』などのルールがある
- ☐ 自治会掲示板の運用方法を決めている
- ☐ 高齢単身世帯の把握ができている
- ☐ 民生委員との連携が取れている

【誤情報対策】

- ☐ SNS情報は公式発表と照合するルールがある
- ☐ 役員内で情報確認の担当を決めている
- ☐ 『拡散前に確認』の意識共有がある

【最終確認】

- ☐ デジタルが止まった場合の想定をしていますか？

わが家の防災情報ノート

【集合場所】

第1集合場所：_____

第2集合場所：_____

【時間ルール】

災害発生後：_____時間は第1集合場所で待機する（例：地震発生避難3時間後まで待つ）

会えない場合：第2集合場所へ移動する

それでも会えない場合：翌日_____時に再度第1集合場所を確認する

【家族の連絡先】

名前	電話番号

【連絡方法】

- 電話
- INE
- 災害用伝言ダイヤル（171）
- Web171
- 大津市防災ナビ

【市外連絡先（中継点）】

名前	電話番号

【近所で助け合う相手】

【持ち出し確認】

- スマホ
- モバイルバッテリー
- ラジオ
- 紙の連絡先メモ

【最後に】

デジタルが止まっても動けるように、家族で話し合っておきましょう。

財布サイズ防災カード（名刺サイズ印刷用）

名前	電話番号